

野生動物

学習シート

ここでは、野生動物に対して、私たちができること、あるいはしてはいけないことを考えます。野生動物には豊かな自然環境が必要です。自然環境を破壊するのも、守ることができるのも人間なのです。

ツキノワグマは、年々その数が減少しています。



自然の中でクマが生きていくためには、えさになるたくさんの植物や昆虫が必要です。そのためには、こうした植物や昆虫が育つ豊かな自然環境と安心して暮らせる広い場所が必要なのです。

地球上には、私たち人間や犬や猫以外にも、たくさんの種類の動物が自然の中で生きています。



野生動物の生活環境を守るために、私たちが気をつけていることを書き出します。

家庭で

- ・ごみを少なくする。
 - ・エネルギーの使用を節約する。
 - ・水を大切ににする。
 - ・ものを大切に使う。
 - ・ご飯を残さず食べる。
- など

学校や地域で

- ・給食を残さず食べる。
 - ・リサイクルに協力する。
 - ・木を植える活動に参加する。
 - ・ごみ拾い等の環境ボランティアをする。
- など

野外で

- ・ポイ捨てをしない。
 - ・野生動物に出会ったら、そっとしておく。
 - ・公共の交通機関を使う。
- など

一見、動物に優しくそうに見える次の3つの行動ですが、それによって、自然界にどのような影響が出るのか考えます。

①「野生動物への餌付け」

自然の中では、限られた食料や広さの中で生きていくことができる数が自然に調節されていますが、人間が餌付けをすると一時的に数が増え、自然の中から動物の食べ物がなくなってしまう。そうすると、人間の住む場所に出てきて畑を荒らしたり、人を襲ったりする事故が起きるようになってしまいます。

えさをあげると動物たちはよろこぶよね!

②「ヒナを拾う」

野鳥のヒナは、まだ上手に飛べない状態で巣立つことが多く、そのようなヒナでも親鳥が食べ物を運んだり安全な場所へ導いたりして育てている場合があるので、安易に人間が連れて帰ると親子を引き離すことになってしまいます。

かわいそうだからつれ帰ってあげよう

巣からヒナが落ちているよ

③「外来生物を自然に放す」

外国から輸入されたカブトムシを自然に放すと、もともと日本にいたカブトムシのえさを奪い、日本のカブトムシの棲む場所がなくなります。また、日本にはなかった病気を持ち込んで、日本の昆虫が絶滅してしまう危険性もあります。

外国からきたカブトムシだけど…せまいところにじこめておくのはかわいそうだから、森の中にはなしてあげよう!

